

1 第七年の五月十日に、イスラエルの長老たちのある人々が、主に尋ねるためにきて、私の前に座した。

2 時に主の言葉が私に臨んだ、

3 人の子よ、イスラエルの長老たちに告げて言え。主なる神はこう言われる、あなたがたが私のもとに来たのは、私に何か尋ねるためであるか。主なる神は言われる、私は生きている、私はあなたがたの尋ねに答えるい。

4 あなたは彼らをさばこうとするのか。人の子よ、あなたは彼らをさばこうとするのか。それなら彼らの先祖たちのした憎むべき事を彼らに知らせ、

5 かつ彼らに言え。主なる神はこう言われる、私がイスラエル選び、ヤコブの家の子孫に誓い、エジプトの地で私自身を彼らに知らせ彼らに誓つて、私はあなたがたの神、主であると言つた日。

6 その日に私は彼らに誓つて、エジプトの地から彼らを導き出し、私が彼らのために探し求めた乳と蜜との流れる地、全地の中で最もすばらしい所へ行かせると言つた。

7 私は彼らに言つた、あなたがたは、おのおのその目を楽しませる憎むべきものを捨てよ。エジプトの偶像をもつて、その身を汚すな。私はあなたがたの神、主である。

8 ところが彼らは私にそむき、私の言うことを聞こうともしなかつた。彼らは、おのおのその目を楽しませた憎むべきものを捨てず、またエジプトの偶像を捨てなかつた。

それで、私はエジプトの地のうちで、私の憤りを彼らに注ぎ、私の怒りを彼らに漏らそうと思った。

9 しかし私は私の名のために行動した。それはエジプトの地から彼らを導き出して、周囲に住んでいた異邦人たちに、私のことを知らせ、私の名が彼らの目の前に、はずかしめられないためである。

10 すなわち、私はエジプトの地から彼らを導き出して、荒野に連れて行き、

11 私の定めを彼らに授け、私のおきてを彼らに示した。これは人がこれをを行うことによって生きるものである。

12 私はまた彼らに安息日を与えて、私と彼らとの間のししとした。これは主なる私が彼らを聖別したことを、彼らに知らせるためである。

13 しかしイスラエルの家は荒野で私にそむき、私の定めに歩まず、人がそれを行うことによって、生きることのできる私のおきてを捨て、大いに私の安息日を汚した。

14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 479 480 481 482 483 484 485 486 487 487 488 489 489 490 491 492 493 493 494 495 495 496 497 497 498 498 499 499 500 500 501 501 502 502 503 503 504 504 505 505 506 506 507 507 508 508 509 509 510 510 511 511 512 512 513 513 514 514 515 515 516 516 517 517 518 518 519 519 520 520 521 521 522 522 523 523 524 524 525 525 526 526 527 527 528 528 529 529 530 530 531 531 532 532 533 533 534 534 535 535 536 536 537 537 538 538 539 539 540 540 541 541 542 542 543 543 544 544 545 545 546 546 547 547 548 548 549 549 550 550 551 551 552 552 553 553 554 554 555 555 556 556 557 557 558 558 559 559 560 560 561 561 562 562 563 563 564 564 565 565 566 566 567 567 568 568 569 569 570 570 571 571 572 572 573 573 574 574 575 575 576 576 577 577 578 578 579 579 580 580 581 581 582 582 583 583 584 584 585 585 586 586 587 587 588 588 589 589 590 590 591 591 592 592 593 593 594 594 595 595 596 596 597 597 598 598 599 599 600 600 601 601 602 602 603 603 604 604 605 605 606 606 607 607 608 608 609 609 610 610 611 611 612 612 613 613 614 614 615 615 616 616 617 617 618 618 619 619 620 620 621 621 622 622 623 623 624 624 625 625 626 626 627 627 628 628 629 629 630 630 631 631 632 632 633 633 634 634 635 635 636 636 637 637 638 638 639 639 640 640 641 641 642 642 643 643 644 644 645 645 646 646 647 647 648 648 649 649 650 650 651 651 652 652 653 653 654 654 655 655 656 656 657 657 658 658 659 659 660 660 661 661 662 662 663 663 664 664 665 665 666 666 667 667 668 668 669 669 670 670 671 671 672 672 673 673 674 674 675 675 676 676 677 677 678 678 679 679 680 680 681 681 682 682 683 683 684 684 685 685 686 686 687 687 688 688 689 689 690 690 691 691 692 692 693 693 694 694 695 695 696 696 697 697 698 698 699 699 700 700 701 701 702 702 703 703 704 704 705 705 706 706 707 707 708 708 709 709 710 710 711 711 712 712 713 713 714 714 715 715 716 716 717 717 718 718 719 719 720 720 721 721 722 722 723 723 724 724 725 725 726 726 727 727 728 728 729 729 730 730 731 731 732 732 733 733 734 734 735 735 736 736 737 737 738 738 739 739 740 740 741 741 742 742 743 743 744 744 745 745 746 746 747 747 748 748 749 749 750 750 751 751 752 752 753 753 754 754 755 755 756 756 757 757 758 758 759 759 760 760 761 761 762 762 763 763 764 764 765 765 766 766 767 767 768 768 769 769 770 770 771 771 772 772 773 773 774 774 775 775 776 776 777 777 778 778 779 779 780 780 781 781 782 782 783 783 784 784 785 785 786 786 787 787 788 788 789 789 790 790 791 791 792 792 793 793 794 794 795 795 796 796 797 797 798 798 799 799 800 800 801 801 802 802 803 803 804 804 805 805 806 806 807 807 808 808 809 809 810 810 811 811 812 812 813 813 814 814 815 815 816 816 817 817 818 818 819 819 820 820 821 821 822 822 823 823 824 824 825 825 826 826 827 827 828 828 829 829 830 830 831 831 832 832 833 833 834 834 835 835 836 836 837 837 838 838 839 839 840 840 841 841 842 842 843 843 844 844 845 845 846 846 847 847 848 848 849 849 850 850 851 851 852 852 853 853 854 854 855 855 856 856 857 857 858 858 859 859 860 860 861 861 862 862 863 863 864 864 865 865 866 866 867 867 868 868 869 869 870 870 871 871 872 872 873 873 874 874 875 875 876 876 877 877 878 878 879 879 880 880 881 881 882 882 883 883 884 884 885 885 886 886 887 887 888 888 889 889 890 890 891 891 892 892 893 893 894 894 895 895 896 896 897 897 898 898 899 899 900 900 901 901 902 902 903 903 904 904 905 905 906 906 907 907 908 908 909 909 910 910 911 911 912 912 913 913 914 914 915 915 916 916 917 917 918 918 919 919 920 920 921 921 922 922 923 923 924 924 925 925 926 926 927 927 928 928 929 929 930 930 931 931 932 932 933 933 934 934 935 935 936 936 937 937 938 938 939 939 940 940 941 941 942 942 943 943 944 944 945 945 946 946 947 947 948 948 949 949 950 950 951 951 952 952 953 953 954 954 955 955 956 956 957 957 958 958 959 959 960 960 961 961 962 962 963 963 964 964 965 965 966 966 967 967 968 968 969 969 970 970 971 971 972 972 973 973 974 974 975 975 976 976 977 977 978 978 979 979 980 980 981 981 982 982 983 983 984 984 985 985 986 986 987 987 988 988 989 989 990 990 991 991 992 992 993 993 994 994 995 995 996 996 997 997 998 998 999 999 1000 1000

荒野 知み 偶像 エジアト
おきて 定め 先祖(父) 名 安息日
2708 4941



主である。聖なる

20

27 それゆえ人の子よ、イスラエルの家に告げて言え。主なる神はこう言われる。

28 神はこう言われる、あなたがたの先祖はまた、不信の罪を犯して私を汚した。

29 私が彼らに与えようと誓った地に、彼らを導き入れた時、彼らはすべての高い丘と、すべての茂った木とを見て、その所で犠牲をささげ、忌むべき供え物をささげ、またこうばしいかおりをその所に上らせ、その所に瀟祭を注いだ。

30 私は彼らに言った、あなたがたが通うその高き所はなんであるか。それでその名は今日までバマとなえられている。』

31 それゆえ、イスラエルの家に言え。主なる神はこう言わる、あなたがたは、その先祖のおこないに従つて、その身を汚し、その憎むべきものを慕うのか。

32 あなたがたは、その供え物をささげ、その子供に火の中を通らせて、今日まですべての偶像をもつて、その身を汚すのである。イスラエルの家よ、私は、なおあなたがたに尋ねられるべきであろうか。私は生きている。私は決してあなたがたに尋ねられるはずはない

33 あなたがたの心にあること、すなわち「われわれは異邦人のようになり、国々のものやからのようにになつて、木や石を拝もう」との考へは決して成就しない。

34 主なる神は言われる、私は生きている、私は必ず強い手と伸べた腕と注がれた憤りとをもつて、あなたがたを治める。

35 私はわが強い手と伸べた腕と注がれた憤りとをもつて、あなたの下を通らせ、数えてはいら

36 らされた國々から集め、あなたの民の荒野に導き入れ、その所で顔と顔とを合わせて、あなたがたをさばく。

37 私はあなたがたに、むちの下を通らせ、数えてはいら

38 あなたがたのうちから、従わぬ者と、私にそむいた者とを分かち、その寄留した地から、彼らを導き出す。しかし彼らはイスラエルの地に入ることはできない。こうしてあなたがたは私が主であることを知るようになる。

十
#4
中4:34
下73:9

20

39 それで、イスラエルの家よ、主なる神はこう言われる、あなたがたは私に聞かないなら、今も後も、おののおのその偶像に行つて仕えるがよい。しかし再び供え物と偶像とをもつて、私の聖なる名を汚してはならない。

40 主なる神は言われる、私の聖なる山、イスラエルの高い山の上で、イスラエルの全家はその地で、ことごとく私に仕える。その所で私は喜んで彼らを受けいれ、あなたがたのささげ物と最上の供え物とを、その聖なる

ささげ物と共に求める。

41 私があなたがたをもろもろの民の中から導き出し、かつてあなたがたを散らした國々から集める時、こうばしいかおりとして、あなたがたを喜んで受けいれる。そして私は異邦人の前で、あなたがたの中に、私の聖なることをあらわす。

42 こうして私があなたがたを、イスラエルの地、すなわちあなたがたを散らした國々から集める時、こうばしあなたがたの先祖たちに与えると誓つた地に、はいいらせる時、あなたがたは私が主であることを知るようになる。

43 またその所であなたがたは、その身を汚したあなたがたのおこないと、すべてのわざとを思い出し、みずから行つたすべての惡事のために、自分を忌みきらうようになる。

44 イスラエルの家よ、私があなたがたの悪しきおこないによらず、またその腐れたわざによらず、私の名のためには、あなたがたを扱う時、あなたがたは私が主であることを知るのであると、主なる神は言われる」。



20

21

45 主の言葉がまた私に臨んだ、

46 「人の子よ、顔を南に向け、南に向かつて語り、ネゲブの森の地に対し預言せよ。」

47 すなわちネゲブの森に言え、主の言葉を聞け、主なる神はこう言われる、見よ、私はあなたのうちに火を燃やす。その火はあなたのうちのすべての青木と、すべての枯れ木を焼き滅ぼし、その燃える炎は消されることなく、南から北まで、すべての地のおもては、これがために焼ける。

48 すべて肉なる者は、主なる私がこれを焼いたことを見た。その火は消れない」。

49 そこで私は言った、「ああ主なる神よ、彼らは私についてこう語っています、「彼はたとえをもつて語る者ではないか」と。」

21

1 主の言葉が私に臨んだ、

2 「人の子よ、あなたの顔をエルサレムに向け、あなたの言葉を聖所に向けてのべ、イスラエルの地に向かつて預言し、

3 イスラエルの地に言え。主はこう言われる、見よ、私はあなたを攻め、私のつるぎをさやから抜き、あなたのうちから、正しい者も惡しき者をも断つてしまう。

4 私があなたのうちから、正しい者も惡しき者をも断つてしまい、私のつるぎはさやから抜け出て、南から北までのすべての肉なる者を攻める。

5 すべて肉なる者は、主なる私が、そのつるぎをさやから抜き放つことを知る。このつるぎは再びさやに納められない。

6 それゆえ、人の子よ、嘆け、心碎けるまでに嘆き、彼らの目の前でいたく嘆け。

7 人があなたに向かつて、「なぜ嘆くのか」と言つなら、「この知らせのためである。それが来れば人の心はみな溶け、手はみななえ、靈はみな弱り、ひざはみな水のようになる。見よ、それは来る、必ず成就する」と言え」と主なる神は言われる。

8 主の言葉が私に臨んだ、

9 「人の子よ、預言して言え、主はこう言われる、つるぎがある、

10 殺すためにといであり、

11 いなずまのようにつるぎがある。

12 私たちは喜ぶことができる。わが子よ、あなたはつえと、すべて木で作ったものを軽んじた。

13 11このつるぎは手にとるために、とがれ、殺す者の手に渡すために、とがれみがされるのである。

14 12人の子よ、叫び嘆け、このことはわが民に臨み、イスラエルのすべての君たちに臨むからである。彼らはわが民と共につるぎにわたされる。それゆえ、あなたのものもを打て。

15 これがために彼らの心は溶け、多くの者がすべての門に倒れる。私はひらめくつるぎを彼らに送る。ああ、これいなずまのようになり、人を殺すためにみがかれている。

16 あなたの刃の向かうところで、右に左になぎ倒せ。

17 私もまた、私の手を打ちならし、私の怒りをしづめるとして、主なる私は言つた」。

18 主の言葉がまた私に臨んだ、

19 「人の子よ、バビロンの王のつるぎが来るために、二つの道を備えよ。この二つの道は一つの国から出ている。あなたは道しるべを作り、これを町に向かう道のはじめに置け。

20 あなたはまたアンモンの人々のラバと、ユダと、堅固な城の町エルサレムとにつるぎの来る道を設げよ。

21 バビロンの王は道の分れ目、二つの道のはじめに立つて占いをし、矢をぶり、テラピムに問い合わせ、肝を見る。

22 彼の右にエルサレムのために占いが出る。すなわち口を開いて叫び、声をあげ、ときを作り、門に向かつて城くずしを設け、墨を書き、雲梯を建てよと言う。

23 しかしこれは彼らの目には偽りの占いと思われ、彼らは堅き誓いをなしした。しかし彼は、彼らを捕えることによつて、罪を思い出させる。

24 それゆえ、主なる神はこう言われる、あなたがたの罪は覚えられ、その反逆は現れ、その罪はすべてのわざに現れる。このようにあなたがたは、すでに覚えられているから、彼らの手に捕えられる。

25 汚れた悪人であるイスラエルの君よ、あなたの終りの刑罰の時であるその日が来る。

26 主なる神はこう言われる、かぶり物を脱ぎ、冠を取り離せ。すべてのものは、そのままには残らない。卑しい者は高くされ、高い者は卑しくされる。

27 ああ破滅、破滅、破滅、私はこれをさせ。私が与える権威をもつ者が来る時まで、その跡形さえも残らない。

28 人の子よ、預言して言え。主なる神はアンモンの人々と、そのあざけりについて、こう言われる、つるぎがある。このつるぎは殺すために抜かれ、いなずまのようにひかりきらめくようになるとされている。

29 彼らがあなたに偽りの幻を示し、偽りを占つたゆえ、これは殺さるべき惡しき者の首の上に置かれる。彼らの終りの刑罰の時であるその日がきている。

30 これをさやに納めよ、私はあなたの造られた所、あなたの生れた地あなたをさばく。

31 私の怒りをあなたに注ぎ、私の憤りの火をあなたに向かへて燃やし、滅ぼすことに巧みな殘忍な人の手にあなたを渡す。

32 あなたは火のため、たきぎとなり、あなたの血は國の中に流され、覚えられることはない、主なる私が言う」。

劍 不義 惡者 預言
刑罰 火 燃り



血を流す。レビ18.19:
火.怒り

22

- ¹また主の言葉が私に臨んで言つた、
²「人の子よ、あなたはさばくのか。血を流すこの町をさばくのか。それならこの町にそのもろもろの憎むべき事を示して、その刑罰の時をまねき、偶像を造つてその身を汚す町よ、
- ⁴あなたはその流した血によつて罪を得、その造つた偶像によつて汚れ、あなたの日を近づかせ、あなたの年の定めの時はきた。それゆえ私はあなたをもろもろの国民のあざけりとなし、万国の物笑いとする。
- ⁵あなたに近い者も、遠い者も、汚れと、混乱に満ちているあなたをあざける。
- ⁶見よ、あなたのうちのイスラエルの君たちは、おのの力にしたがつて、血を流そうとしている。おのの父母はあなたのうちで卑しめられ、寄留者はあなたのうちで虐待をうけ、みなしこと、やもめとはあなたのうちで悩まされている。
- ⁸あなたは私の聖なるものを卑しめ、私の安息日を汚した。
- ⁹人をののしつて血を流そうとする者は、あなたのうちにおり、人々はあなたのうちで、山の上で食事をし、あなたのうちで、みだらなおこないをし、
- ¹⁰あなたのうちで、父の裸を現し、あなたのうちで、汚れのうちにある女を犯す。
- ¹¹またあなたのうちに、その隣の妻と憎むべき事を行う者があり、淫行をもつて、その嫁を汚す者があり、自分の父の娘である自分の姉妹を犯す者があり、
- ¹²また血を流そうとして、あなたのうちで、まいないを取る者がある。あなたは利息と高利とを取り、しこたげによつて、あなたの隣り人のものをかすめ、そして私を忘れてしまつたと、主なる神は言われる。
- ¹³それゆえ見よ、あなたが得た不正の利の事、およびあなたのうちにある流血の事に対して、私は手を打ちならす。
- ¹⁴私があなたを攻める日には、あなたの勇気は、これに耐え得ようか。またあなたの手は強くあり得ようか。主なる私はこれを宣言し、これをなす。
- ¹⁵私はあなたを、もろもろの国民のうちに散らし、国々の間にまき、そしてあなたから汚れを除く。
- ¹⁶私はあなたによつて、もろもろの国民の前に汚される。そしてあなたは私が主であることを知る」。

- ¹⁷主の言葉がまた私に臨んだ、
¹⁸「人の子よ、これに言え、あなたは怒りの日に清められず、また雨の降らない地である。
- ²³主の言葉がまた私に臨んだ、
²⁴「人の子よ、これに言え、あなたは怒りの日に清められず、また雨の降らない地である。
- ²⁵その中の君たちは、獲物を裂くほえるしのような者で、彼らは人々を滅ぼし、宝と尊い物とを取り、そのうちに、やもめの数をふやす。
- ²⁶その祭司たちはわが律法を犯し、聖なる物を汚した。彼らは聖なる物と汚れた物とを区別せず、清くない物と清い物との違いを教えず、わが安息日を無視し、こうして私は彼らの間に汚されている。
- ²⁷その中にいる君たちは、獲物を裂くおおかみのようで、血を流し、不正の利を得るために人々を滅ぼす。
- ²⁸その預言者たちは、水しづくいでこれを塗り、偽りの幻を見、彼らに偽りを占い、主が語らないのに「主なる神はこう言われる」と言う。
- ²⁹國の民はしきたげを行い、奪うことなし、乏しい者と貧しい者とをかすめ、不法に他国人をしきたぐ。
- ³⁰私は、國のために石がきを築き、私の前にあつて、破口に立ち、私にこれを滅ぼさせないようにする者を、彼らのうちに尋ねたが得られなかつた。
- ³¹それゆえ、私はわが怒りを彼らの上に注ぎ、わが憤りの火をもつて彼らを滅ぼし、彼らのおこないを、そのこくに報いたと、主なる神は言われる」。

22

23

22 それゆえ、アホリバよ、主なる神はこう言われる、「見よ、私は、あなたの心がすでに離れたあなたの恋人らを起して、あなたを攻めさせ、彼らに四方から来あなたを攻めさせる。」

23 すなわちバビロンの人々およびカルデヤのすべての人々、ペコデ、ショア、コア、アッスリヤのすべての人々、好ましい若者、長官、司令官、官吏、軍人など、すべて馬に乗る者たちである。

24 彼らは戦車、貨車、および多くの民を率いて、北からあなたに攻めて来る。大盾、小盾、かぶとを備えて、四方からあなたに攻めかかる。私が彼らにさばきをゆだねるゆえ、彼らは、そのおきてに従つて、あなたをさばく。

25 私はあなたに向かつて私の憤りを起すゆえ、彼らは怒りをもつてあなたを扱い、あなたの鼻と耳とを切り落し、そして残りの者はつるぎに倒れる。彼らはあなたのもすこ娘たちを奪い、生き残った者を火で焼く。

26 彼らはまたあなたの衣服をはぎ取り、あなたの美しい飾りを取り去る。

27 こうして私はあなたの淫乱と、エジプトの地から持つて来た淫行とを取り除き、重ねてあなたの目を、エジプトびとに向けて上げさせず、彼らの事を思わないようにする。

28 主なる神はこう言われる、見よ、私はあなたの憎む者の手、あなたの心の離れた者の手にあなたを渡す。

29 彼らは憎しみをもつてあなたを扱い、あなたの所得をことごとく取り去り、あなたを赤はだかにし、あなたの淫行の裸を現す。あなたの淫乱と淫行とのゆえに、

30 すなわち、あなたが異邦人を慕つて姦淫を行い、彼らの偶像をもつて身を汚したゆえに、これらのことがあなたに臨むのだ。

31 あなたはその姉の道を歩んだので、私も彼女の杯をあなたにわたす。

32 主なる神はこう言われる、あなたは姉の深い、大きな杯を飲み、驚きと滅びの杯、

33 これがあなたの姉サマリヤの杯である。

34 あなたはこれを飲みこれをかたむけ、あなたの髪の毛をひきむしり、あなたの乳ぶさをかきさく。

35 それゆえ、主なる神はこう言われる、あなたは私を忘れ、私をあなたのうしろに捨て去つたゆえ、あなたは自分の淫乱と淫行との罪を負わねばならぬ」。

23

36 主は私に言われた、「人の子よ、あなたはアホラとアホリバをさばくのか。それならば彼らにその憎むべき事を告げよ。」

37 彼らは姦淫を行い、血が彼らの手の上にある。彼らはその偶像と姦淫を行い、また私に産んだ子らを、食物のために彼らにささげた。

38 さらく彼らは、私に対してこのようにした。すなわち、彼らは同じ日に私の聖所を汚し、私の安息日を犯した。

39 彼らはその子らを、偶像にささげるためにはふつた同じ日に、私の聖所にきて、これを汚した。見よ、彼らが私の家中でしたことはこれである。

40 さらく彼らは使者をやつて、遠くから来るよう人々を招いた。見よ、彼らはきた。あなたは、この人々のために身を洗い、目を描き、飾り物を身につけ、

41 尊い床に座し、食卓をその前に設け、私の香と、私の油とを、その上に供えた。

42 こうして、のんきな群衆の声は彼女と共にあり、また、荒野から連れて来た通りがかりの酔いどれも、彼らと共にいた。彼らは女たちの手に腕輪をはめさせ、頭に美しい冠をいただかせた。

43 そこで私は言つた、彼女と姦淫を行う時、人々は姦淫を犯さないであろうか。

44 人が遊女の所にはいるように、彼らは彼女の所にはいった。こうして彼らは姦淫を行うために、アホラおよびアホリバの所にはいつた。

45 しかし正しい人々は姦婦のさばきと、血を流した女のさばきとをもつて、彼らをさばく。それは彼らが姦婦であつて、その手に血があるからである」。

46 主なる神はこう言われる、「私は軍隊を彼らに向かつて攻め上らせ、彼らを恐れと略奪とに渡す。」

47 軍隊は彼らを石で打ち、つるぎで切り、そのむすこ娘たちを殺し、火でその家を焼く。

48 こうして私はこの地に淫乱を絶やす。すべての女はみずからいましめて、あなたがたがしたような淫乱を行わない。

49 あなたがたの淫乱の報いは、あなたがたの上にくだり、あなたがたはその偶像礼拝の罪を負い、そして私が主なる神であることを知るようになる」。



流血の都 まぐら

1 第九年の十月十日に、主の言葉が私に臨んだ。
 2 「人の子よ、あなたはこの日すなわち今日の名を書きし
 るせ。バビロンの王は、この日エルサレムを包囲し
 た。

3 あなたはこの反逆の家にたとえを語つて言え。主なる神
 はこう言われる、かますをすえ、これをすえて、水を
 くみ入れよ。
 4 その中に肉の切れを入れよ、
 すべて良い肉の切れ、
 すなわち、ももと肩の肉をこれに入れよ。
 良い骨をこれに満たせ。
 5 羊の最も良いものを取れ。
 かまの下にまきを積み、
 その肉を煮たぎらせ、またその中の骨を煮よ。
 6 それゆえ、主なる神はこう言われる、わざわいなるか
 な、流血の町、さびているさま。そのさびはこれを離
 れない。肉をひとつひとつ無差別に取り出せ。
 7 その流した血はまだその中にある。彼女はこれを裸岩の
 上に流し、土でこれをおおうために、地面には注がな
 かった。
 8 これは、私の怒りをつのらせ、あだを返すために、その
 流した血がおおわれないように、裸岩の上に流したの
 である。
 9 それゆえ、主なる神はこう言われる、わざわいなるか
 な、流血の町。私もまた、まきをさらりと積み重ねる。
 10 まきを積み重ね、火を燃やし、肉をよく煮て、煮つく
 し、骨を焼け。
 11 そしてかまを熱くするため、それをからにして炭火の上
 に置き、その銅を焼いて、汚れをその中に溶かし、そ
 のさびを去れ。
 12 しかし私のほねおりは、むだであった。その多くのさび
 は火によつて消えない。
 13 そのさひとは、あなたの不潔な淫行である。私はあなた
 を清めようとしたが、あなたはあなたの不潔から清め
 られようとしないから、私の怒りをあなたに漏らし尽
 すまでは、あなたは汚れから清まることはない。

14 主なる私はこれを言つた。そしてこれは必ず成る。私は
 これをなす。私はやめない、惜しまない、悔いない。
 あなたのおこないにより、あなたのわざによつて、あ
 なたをさばくと、主なる神は言われる」。

事.息子.娘.手

15 また主の言葉が私に臨んだ。
 16 「人の子よ、見よ、私は、にわかにあなたの目の喜ぶ者
 を取り去る。嘆いてはならない。泣いてはならない。
 17 声をたてずに嘆け。死人のために嘆き悲しむな。ずきん
 をかぶり、足にくつをはけ。口をおおうな。嘆きのパンを食べるな」。
 18 朝のうちに、私は人々に語つたが、夕べには、私の妻は
 死んだ。翌朝私は命じられたようにした。
 19 人々は私に言つた、「あなたがするこの事は、われわれ
 になんの関係があるのか、それをわれわれに告げては
 くれまいか」。
 20 私は彼らに言つた、「主の言葉が私に臨んだ、
 21 「イスラエルの家に言え、主なる神はこう言われる、見
 よ、私はあなたがたの力の誇、目の喜び、心の望みで
 あるわが聖所を汚す。あなたがたが残すむすこ娘たち
 は、つるぎに倒れる。
 22 あなたがたも私がしたようにし、口をおおわづ、嘆きの
 パンを食べず、
 23 頭にずきんをかぶり、足にくつをはき、嘆かず、泣か
 ず、その罪の中にやせ衰えて、互にうめくようにな
 る。
 24 このようにエゼキエルはあなたがたのためにしとな
 る。彼がしたようにあなたがたもせよ。この事が成る
 時、あなたがたは私が主なる神であることを知るよう
 になる」。
 25 「人の子よ、私が、彼らのとりで、彼らの喜びと榮え、彼
 らの目の喜びであり、その心の望みであるもの、また
 彼らのむすこ娘たちを取り去る日。
 26 その日に難をのがれて来る者が、あなたのものにきて、
 あなたに事を告げる。
 27 その日あなたは、そののがれてきた者に向かつて口を開
 き、語り、もはや沈黙しない。こうしてあなたは彼ら
 のためにしるしとなり、彼らは私が主であることを知
 る」。

嘆くな

